

別記様式第十三

裁 定 申 請 書	
裁定申請者	住 所 氏 名
相手方	住 所 氏 名
河川法第 条の規定による協議が成立しないので、下記により、裁定を申請します。	
記	
1	損失の事実
2	損失の補償の見積り及びその内容
3	協議の経過
4	その他参考となるべき事項
年 月 日	
裁定申請者	住 所 氏 名
殿	印

備考

- 1 裁決申請者又は相手方が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 3 「第 条」の箇所には、根拠条文を記載すること。
- 4 「損失の事実」については、発生の場所及び時期をあわせて記載すること。
- 5 「損失の補償の見積り及びその内容」については、積算の基礎を明らかにするものとし、法第42条第3項の規定によつて損失防止施設を設置することを要求する場合は、その費用の見積りをあわせて記載すること。
- 6 「協議の経過」については、経過の説明のほか、協議が成立しない事情を明らかにすること。